

事 務 連 絡
令和 8 年 8 月 14 日

公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本産科婦人科学会
公益社団法人日本産婦人科医会
公益社団法人日本小児保健協会
公益社団法人日本小児科医会
公益社団法人日本看護協会
公益社団法人日本助産師会
公益社団法人日本栄養士会

御中

こども家庭庁成育局母子保健課

思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる
環境づくりのための調査研究結果について（情報提供）

母子保健行政の推進につきましては、かねてより格段の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

本年 1 月に、「プレコンサポーター養成講座の開始等について（依頼）」において、会員への周知を依頼したところです。プレコンサポーターの修了者数は、7 月末時点で、基礎編：7,223 人、アドバンス編：3,945 人となっております。引き続き、セミナー、出前講座、研修等の企画及び実施、「性と健康の相談センター」等での専門職による個別相談の実施等にご協力いただける際には、養成講座を受講したうえで、実施いただきますようお願いいたします。

また、令和 7 年 5 月に策定した「プレコンセプションケア推進 5 か年計画」においては、「特に若い世代の女性において、月経痛等で日常生活に支障が生じていたり、性感染症への不安があっても、産婦人科を受診することに高い心理的ハードルを感じている方もいるため、悩みの解消に繋がられるよう、企業や大学内の保健管理センター等の相談先も含め適切な対処法に関する情報を提供する。」としているところです。

上記を踏まえ、今般、こども家庭庁が実施した、令和 7 年度子ども・子育て支援等推進研究事業「思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる環境づくりのための調査研究」（事業実施者：PwC コンサルティング合同会社）において、当事者における産婦人科受診の心理的ハードルを高める要因等を把握す

るとともに、当事者・保護者へのヒアリング調査を踏まえ、思春期のこども及び医療従事者向けの資材をまとめております。

つきましては、本通知の内容について、貴会会員に対する周知をお願いするとともに、各種資材につきましても、是非活用いただき、思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる環境づくりの充実に努めていただきますようお願い申し上げます。

なお、各自治体に対しても、別添のとおり、周知しております。

別添

事務連絡

令和8年8月13日

各
〔都道府県〕
〔市区町村〕

母子保健担当部（局）御中

こども家庭庁成育局母子保健課

思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる
環境づくりのための調査研究結果について（情報提供）

母子保健行政の推進につきましては、かねてより格段の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

本年1月に、「プレコンサポーター養成講座の開始等について（依頼）」において周知を依頼したところです。プレコンサポーターの修了者数は、7月末時点で、基礎編：7,223人、アドバンス編：3,945人となっております。引き続き、職員に対し、「プレコンサポーター養成講座」の積極的な受講を促していただくとともに、「プレコンサポーター」による、セミナー、出前講座、研修等の企画や、SNS等を活用した発信・周知、住民への相談窓口の周知に取り組んでいただくとともに、「性と健康の相談センター」等での専門職による個別相談や出前講座等の企画及び実施においても、「アドバンスサポーター」を積極的に活用いただくようお願いいたします。

また、令和7年5月に策定した「プレコンセプションケア推進5か年計画」においては、「特に若い世代の女性において、月経痛等で日常生活に支障が生じていたり、性感染症への不安があっても、産婦人科を受診することに高い心理的ハードルを感じている方もいるため、悩みの解消に繋げられるよう、企業や大学内の保健管理センター等の相談先も含め適切な対処法に関する情報を提供する。」としているところです。

上記を踏まえ、今般、こども家庭庁が実施した、令和7年度子ども・子育て支援等推進研究事業「思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる環境づくりのための調査研究」（事業実施者：PwCコンサルティング合同会社）において、当事者における産婦人科受診の心理的ハードルを高める要因等を把握するとともに、当事者・保護者へのヒアリング調査を行い、思春期のこども及び

医療従事者向けの資材をまとめております。

つきましては、本報告書及び各種取材を参照・活用いただき、思春期のこどもが安心して産婦人科を受診できる環境づくりの充実に努めていただきますようお願い申し上げます。

なお、将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある男女を対象に、特に、若年世代を含む国民が、気軽に相談できるよう、身近な地域や機関等における相談体制の整備を図るため、令和6年度補正予算より、性と健康の相談センター事業の一部として、「プレコンセプションケアに関する相談支援加算」を創設しております。併せてご活用いただきますようお願い申し上げます。

【調査研究の主なポイント】

- インターネット調査会社のモニターを対象としたオンラインによるアンケート調査にて、15歳～30歳の女性17,102名のうち、事前スクリーニングで、女性特有の症状・悩み・相談ごとがあると回答した9,287名を本調査対象として分析した。なお、対象となる症状については、産婦人科に関する症状全般とするものの、特に一般に起こりやすい症状（月経に関する症状（月経困難症、月経過多、無月経、月経前症候群（PMS）））に着目することとした。
- 上記結果も踏まえ、委員会構成員の当事者3名及び保護者2名へのヒアリングを実施した。
- 上記調査及びヒアリングを踏まえ、①当事者目線の確保、②信頼性の確保、③実用性の確保の観点から、以下の各種資材を作成した。

- ・ 思春期のこどもが必要なタイミングで産婦人科受診ができるよう、医療機関受診の目安を示す「産婦人科チェックリスト」

[思春期の女子のための産婦人科受診チェックリスト](#)



- ・ 思春期のこどもが産婦人科診察に対する不安を解消するための「産婦人科診察Q&A」

[思春期女子向け産婦人科診察Q&A](#)



- ・ 思春期のこどもに寄り添った産婦人科診察ができるよう、当事者や保護者の声を反映した「医療従事者向けパンフレット」

[思春期の産婦人科診療に関わる際に配慮すること（医療機関向け）](#)



（参考）調査結果の詳細等については、下記リンク先にてご覧いただけます。

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/assets/pdf/childcare-support2025-2-03.pdf>

【照会先】

こども家庭庁成育局母子保健課

TEL：03-6862-0413

E-mail：precon@cfa.go.jp